



# カジカの学君

2024年 新春号

Vol. 75

特定非営利活動法人 加治川ネット21

新潟県新発田市岡田1294番地

TEL:090-8080-1349 FAX:0254-20-7170

URL <http://www.inet-shibata.or.jp/~kjn21> E-mail: [kjn21@ml.shibata.ne.jp](mailto:kjn21@ml.shibata.ne.jp)

会費振込:郵便局振替口座00500-5-35812 新潟県労働金庫(普通)2841346

## 新春あいさつ

NPO法人加治川ネット21

理事長 田代和吉

令和6年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

コロナウイルス感染症が昨年5月に5類に移行して、経済活動がコロナ禍前に戻りつつあり、当会の活動もコロナ禍前と同程度に戻っていると感じています。

昨年は「地球温暖化」から「地球沸騰化」と言われ始め、「地球沸騰化」は流行語大賞でもトップ10入りしました。この先も地球沸騰化が続けば、気温が上昇し続け異常気象による自然災害が頻発し、経済活動・農業への影響が甚大となるおそれがあります。

熱中症による救急搬送の数字も右肩上がりです。地球沸騰化の影響を如実に表しています。何年か前に高校野球のスパイクは試合中は黒色のみ

## 謹賀新年



当会の新年は、高齢化や会員数の減少など、課題を抱えての出発ですが、皆様の知恵と力を借りながら活動していきます。

本年もよろしくお願いいたします

令和6年1月  
特定非営利活動法人  
加治川ネット21 役員一同

認められていましたが、暑い中、黒色だと熱を吸収し、足から体温を上げすぎてしまうため、試合中でも白色のスパイクを履くことが認められました。昭和の時代とは気候が変わってきたことを実感します。当会の本年の活動は、「地球沸騰化」についての話題を絡めながら行っていききたいと思えます。本年もよろしくお願い致します。

## 地域再生プロジェクト

### 空き家利活用ワークショップを開催

10月7日、当会が構成団体となっている地域再生プロジェクトの空き家利活用ワークショップを、新発田市上三光地内の「蔵のある古民家・雅蔵」で開催しました。

ワークショップは最初に当該古民家の前当主渋谷満さんから、生い立ち、家屋の維持などについて話を聞きました。続いて新発田市の空き家対策住宅係職員から新発田市の空き家の現況説明、空き家バンクの取り組みなどを聞いた後、同集落の古民家住宅診断の様子や他県の事例説明、空き家プロジェクトの取り組みなどで話が進められました。



住む人がいないままに放置された空き家は社会問題になっており、テレビでも特集番組が組まれるなど、都会でも田舎でも日本全国で起こっている現象です。人口減少と単身世帯の増加などとあいまって、今後ますます増えていくものと思われる。将来に不安を感じつつも今は大丈夫と問題を先送りしてしまうと、いざその時になると体力も資金力もなく、そのまま家屋が朽ちていくのを見ているしかない事例もあります。今からある程

程度の予測をもって計画を立てておく必要性を、改めて感じました。

空き家問題は所有者家族だけでどうにかできる簡単なものではなく、いろいろな形でいろいろな人が古民家や地域の魅力を発信し、その利活用を考えていくことが大切です。

当会ではこれからも空き家問題に関わっていきます。

### 蔵のある古民家・雅蔵で手打ちそばイベント

期日：2月25日午前10時から

参加費 1200円

詳細は同封チラシを参照してください。

### 震災お見舞い申し上げます

元日に発生した能登半島地震は多くの方々の命や生活を奪いました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

災害は忘れた頃にやってくるといいます。震源から離れた新潟市や佐渡市でも大きな被害が出ています。今回被害がなかったとしても、油断せず災害への備えは十分に整えてください。

13年前に起きた東日本大震災では多くの方々が新発田市内で避難生活を送りました。当会も避難者を支援しよう と避難者と共同作業の豚汁作り、押花はがきや避難所内の区画表札作り、第2避難所になった月岡温泉での古着市、義援金寄付など様々な活動をしました。

今回の地震では当会として避難者への直接支援は行いませんが、離れた場所でも何ができるのか模索していきたいと思えます。